

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	19204
----------	-------

1. 開設大学	広島女学院大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	〈鬼〉と日本文化－『鬼滅の刃』ブームから考える－		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	足立直子 (人文学部 日本文化学科)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 2 年 8 月 4 日 (火) 13 時 00 分 ~ 16 時 10 分 (90 分 × 2 回)		
個別開講日	1 回目 8/4	2 回目 /	3 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
5. 募集定員	20 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>今、漫画『鬼滅の刃』が大人気です。舞台は大正時代、主人公炭治郎は、家族を鬼に惨殺され、たった一人生き残った妹も鬼と化してしまいます。その妹を人間に戻すために炭治郎は鬼たちを相手に戦い続けるという話ですが、なぜこれほどまでにこの作品はヒットしているのでしょうか。その答えは日本の長い歴史の中で、人々の暮らしと共にさまざまに姿を変えてきた鬼の存在を捉え直すことで見えてくると思います。私たちが日ごろ触れているものの中には長い歴史を持つものが多く存在します。時には全く姿を変えてしまうものもあれば、炭治郎の妹への深い愛情のように、いつの時代でも変わらず人々の心を打つものもあります。この授業を通して、皆さんが日本文化に関心を持ち、ひいては人間が生きるということに思いをめぐらす機会を得ることができればと思います。</p> <p>1 時限目 13:00~14:30 「鬼は本当に悪者か」 鬼のルーツを簡単に押さえた上で、昔話の『桃太郎』と芥川龍之介が書いた『桃太郎』を読み比べます。子供の頃に触れた昔話では、鬼は退治される者として疑わなかったことと思いますが、鬼は本当に悪者だったのでしょうか。</p> <p>2 時限目 14:40~16:10 「人間と鬼は共生できるか」 浜田廣介による児童文学の名作『泣いた赤おに』の読解を通して、人間と鬼の関係を改めて考えます。また、『泣いた赤おに』を脚色して作られた映画『friends ものけ島のナキ』を紹介する中で、この多様性の時代である現在にも通じる視点を共に考えたいと思います。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月10日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月11日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。